

(様式第4号)

## 上田市博物館協議会 会議概要

1 審議会名	令和5年度第2回上田市博物館協議会
2 日時	令和6年3月14日 午後1時30分から午後2時30分まで
3 会場	信濃国分寺資料館講堂
4 出席者	児玉会長、小宮山会長代理、矢島委員、矢嶋委員、鎌田委員、寺島委員、小駒委員
5 市側出席者	坂部市立博物館長、小山信濃国分寺資料館長、川上庶務学芸係長、 斉藤主任
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和6年3月14日

### 協 議 事 項 等

1 開 会 (坂部館長)
・開会のことば
2 あいさつ (児玉会長)
・地域文化を学ぶ活動を美術館や博物館を中心に行ってほしい。
3 協議事項
(1) 令和5年度事業報告について (資料1)
・資料1-1に沿い、斉藤主任から市立博物館事業報告について概要を説明
・資料1-2に沿い、小山館長から信濃国分寺資料館事業報告について概要を説明
・以降、協議
(委 員) 博物館の令和元年度の入館者数はどのくらいか。コロナ禍前に比べて少しずつ増えているように思うが、どうか。
(事務局) コロナ禍前の令和元年度は、88,000人ほど。令和元年度と比較して、令和5年度の博物館の入館者数は7、8割ほどに回復傾向である。
(委 員) 今年度の市立博物館の博物館講座は、歴史的なものにこだわらず、民俗学や植物学を取り入れたが、受講生からは好評だったか。
(事務局) 好評であった。
(委 員) 博物館の夏季企画展を美術館と共催した意図は。
(事務局) 美術館は、駅や市街地から離れており、博物館に比べ入館者が若干少ない。博物館と美術館は、それほど距離が離れていないので、博物館と美術館の共催での企画展を開催し、双方の入館者を増やしたいとの意図があった。実際、2館ともに入館者を増やすのは難しいことだったが、今後良いアイデアを出していきたい。
(委 員) 博物館と美術館の移動距離は、短いことを市民に感じてもらえたら良い。ぜひ今後も共催での企画を行ってほしい。
(委 員) 博物館の資料収集の中の真田地域の岩石は、どのようなものか。
(事務局) 田畑先生の講座で配布された岩石を受講者から寄贈を受けたもの。現在博物館の岩石資料は、個人のコレクションで海外の岩石も多いので、地元の真田地域の岩石は、博物館で収蔵する価値がある資料として受贈した。
(委 員) 博物館の資料収集の中の上田藩古地図とは、どのようなものか。
(事務局) 上田城に関する資料を市の城跡整備室で探しているが、その資料として城跡整備室に連絡があったもの。地域の山の名が書かれており、彩色も豊かで、展示資料として見栄える資料。

(委員) 博物館の購入資料について、どのような内容のものか。

(事務局) 上田藩にかかわる古文書を購入した。

## (2) 令和6年度事業計画について(資料2)

- ・資料2-1に沿い、斉藤主任から市立博物館事業計画について概要を説明
- ・資料2-2に沿い、小山館長から信濃国分寺資料館事業計画について概要を説明

・以降、協議

(委員) 博物館の秋季企画展は、上田城に関するテーマだが、懸賞金事業での資料は集まっているか。

(事務局) 生涯学習・文化財課に何件か連絡はきているようだ。

(委員) 公園内の整備が進んでいるが、市民には何をやっているのかわかりにくい。

(事務局) 来年6月に旧市民会館を壊すため、公園内も工事トラック用道路の整備等が始まる。博物館や櫓への導線は確保される。

(委員) 市民への導線変更等、城跡整備のお知らせを兼ねて、企画展ができると良い。企画展の内容にも説明書き等あるとわかりやすいと思う。

(事務局) 博物館の秋季企画展の展示は、博物館収蔵品の他、新しい資料を展示する予定。

(委員) 春季企画展では、鍛冶町田口家から寄贈された江戸時代後期の雛人形を展示することだが、最盛期の上田市内は、どのような様子だったのかわかる写真などあれば、一緒に展示してほしい。

(委員) これまでの上級者向け古文書講座で学んだ受講生が、博物館の古文書等の資料調査をする機会などあれば良いと思う。

(事務局) 機会をみて、そのような方々にもお声がけしていきたい。

(委員) ・今後、塩田各地区の獅子舞などの民俗行事を博物館講座で取り上げて良いと思う。  
・菅平の高山植物などを博物館講座で取り上げることは、良いと思う。

(委員) 資料館の企画展で、縄文早期に限定したのはなぜか。

(事務局) 押型土器の紹介をしたいため。

(委員) 陣ノ岩岩陰遺跡はととても珍しく、全国から大勢人が訪れた。考古学史でもとても注目を集めたので、そのような解説も入れてほしい。

## (3) その他報告事項

・川上係長から古文書整理作業について報告

(内容) 令和5年度は、上小郷土研究会役員有志の協力を得て、順調に作業を進めた。

今後も上小郷土研究会の役員有志の協力を得て、作業を進めたい。

・小山館長から勾玉カードについて説明

(内容) 県埋蔵文化財センターで県内15館のカード作成。資料館でも勾玉カードを作成した。

## 4 閉会(坂部館長)

・報告: 本日の内示で博物館職員の異動の内示あり。また4月から博物館に指導主事が配属される。

・閉会のことば